

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

【「言葉」を問う問題】

① 次の文の _____ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から、それぞれ一つえらびましょう。

レベル2

（1）友だちといっしょに、学級新聞のキ事を書いた。

- 1 木 2 気 3 帰 4 記

（2）算数の学習で、シヨウ数の計算問題のときかたを考えた。

- 1 小 2 章 3 少 4 正

（3）弟と手をつないで、歩ドウ橋をわたった。

- 1 同 2 道 3 動 4 童

② 次の（1）～（3）の漢字の○でかこんだ部分の部首を答えましょう。

レベル6

（1）流

（2）頭

（3）花

3 次の文の _____ の言葉を国語じてんで調べます。国語じてんにのっている見出し語の形をえらんで（ ）に○をつけましょう。

レベル7

（1）深くもぐって、プールのそこにさわってみた。

（ ） 深く （ ） 深い （ ） 深さ

（2）遠足で楽しかったことを思い出して、作文に書いた。

（ ） 書く （ ） 書け （ ） 書く

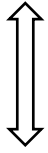
（3）校内放送を聞いて、先生が「しずかにしなさい。」と言った。

（ ） しずかな （ ） しずかで （ ） しずか

4 次の _____ の言葉について、（1）は、反対の意味の言葉、（2）は、にている意味の言葉を書きましょう。

レベル7

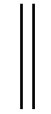
（1）大きな山



山

【反対の意味】

（2）友だちに話す。



友だちに

【にている意味】

5 次の文の 〃 をくわしくしている言葉を 〃 の 1 ～ 3 の中からそれぞれ一つえらび
ましよう。

レベル7

(1) むらさきの 1 アサガオが 2 庭に 3 さいた。

(2) 川の 1 水が 2 さらさらと 3 流れている。

(3) せなかの 1 ランドセルが 2 とても 3 重い。

(4) 小さな 1 男の子が 2 自転車に 3 乗っている。

6 次の文章の 〃 を引いた、こそあど言葉は、何を指していますか。文章中より書きぬ
きましよう。

レベル7

(1) 昨日、ノートを買った。わたしは、それに、日記を書くつもりだ。

(2) 公園で友達と会うやくそくをした。だから、わたしは、ここで待っている。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【話すこと・聞くこと】を問う問題】

- ① 木村さんのクラスでは、外国の友だちに日本の文化についてしようかいすることになりました。そこでグループごとにしようかいしたい日本の文化について話し合いをしています。次の【木村さんのグループの話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【木村さんのグループの話し合いの様子】

木村さん… これから、外国の友だちにしようかいする日本の文化について話し合います。目的は、外国の友だちが日本に来てみたいと思ってくれるような日本の文化を一つしようかいすることです。

はじめに、しようかいしたい日本の文化とその理由を五分間で出し合います。次に、しようかいする日本の文化の決め方を、五分間で話し合います。その後、十分間で、しようかいする日本の文化を一つ決めましょう。では、今田さんから考えを教えてください。

今田さん… はい。ぼくは「和食」がいいと思います。「おすし」や「天ぷら」など、外国の友だちも「和食」について名前は知っていると思います。でも、くわしくは知らないと思うので、くわしくしようかいすることで、日本に来て「和食」にチャレンジしてみたいと思うのではないのでしょうか。

中村さん… わたしは、「しろうぎ」がいいと思います。外国にも「しろうぎ」によく似た「チェス」というゲームがあるので、きょうみがわきやすいと思います。

南野さん… わたしは、「アニメ」がいいと思います。この前、わたしが見たテレビ番組の中で、外国の本屋さんにも日本のアニメ作品がならんでいる場面を見ました。日本の「アニメ」をしようかいしたら、きっと日本に来て、アニメを見てみたいと思ってくれるはずです。

木村さん… みんなが出した日本の文化について整理すると

①

(1) 木村さんは司会者として、話し合いのはじめに「あること」をかくにんしています。「あること」とは何か次のア～オの中から二つえらんで記号で答えましょう。

ア 話し合いの文化について

イ 話し合いの目的について

エ 話し合いのこだわりについて

才 話し合いの進め方について

と

レベル6

(2) ①に当てはまる文章を次のア～エから一つえらんで記号で答えましょう。

ア 外国の友だちが「チャレンジしてみたいくなる」ところが同じですね。

レベル7

イ 外国の友だちが「知らない」というところが同じですね。

ウ 外国の友だちが「知っていそう」というところが同じですね。

工 外国の友だちが「見てみたくなる」というところが同じですね。

(3) もし、あなたがこの話し合いにさんかしていたら、しようかいしたい日本の文化とその理由をどのように発言しますか。あとの条件に合わせて書きましょう

レベル6

《条件》・二段落に分けて書くこと。段落のはじめは一マスあけてから書きはじめること。

- ・一段落目に外国の友だちにしようかいしたい日本の文化を書くこと
- ・二段落目にその理由を書くこと。
- ・話し合いで話しているように書くこと。
- ・六〇字以上九十字以内で書くこと。

[illegible]

九十字

六十字

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



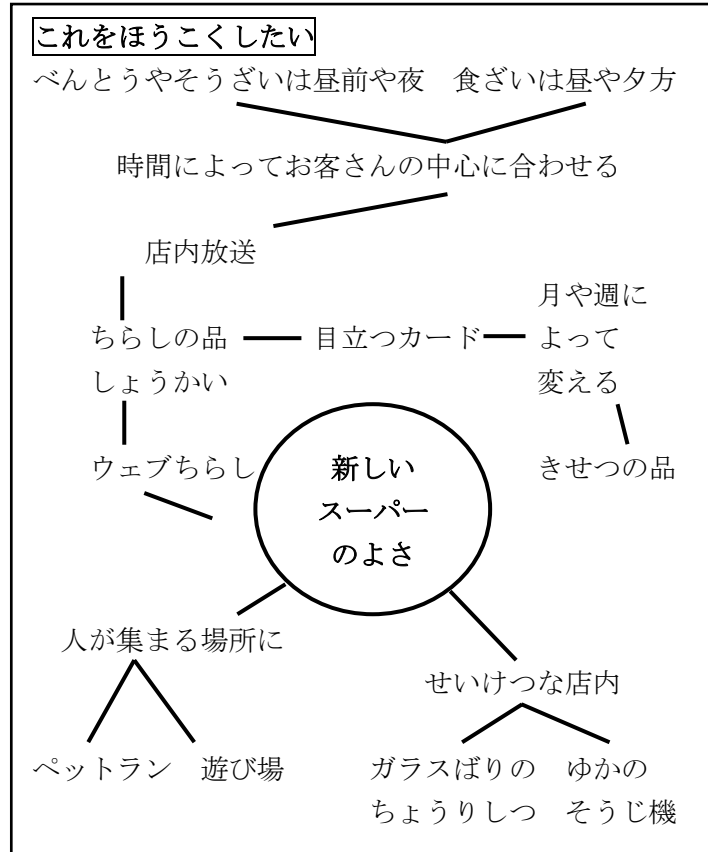
組	番号	名前

【「書くこと」を問う問題】

- 1 太田さんのはんでは、学校の近くに新しくできたスーパーのくふうを、ほかの店を調べたほかの班の人にほうこくする文章を書くことにしました。

太田さんは、スーパーを見学したときにメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、【太田さんの見学メモ】と【太田さんの考え】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【太田さんの見学メモ】



【太田さんの考え】



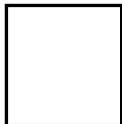
太田さん

スーパーに行ったことがある人も、時間によってちがうスーパーのくふうは知らないだろうし、知ったらおどろくだろうな。

（１）太田さんは、文章に書くことを決めるために、どのように考えましたか。その説明として、もつとも当てはまるものを、次の１から４までのの中から一つえらんで、その番号を書きましょう。

レベル7

- 1 自分が書きやすいじゆんじよを考えた。
- 2 集めたじようほうのにている点を考えた。
- 3 つたえたいことが分かる絵や写真を使おうと考えた。
- 4 読む人のことをふまえて何を書くかを考えた。



【太田さんのメモ】

- 時間によっておとずれるお客様の中心がちがう
- その時間のお客様に合わせて、しょうかいするちらしの品を変えて放送

【太田さんの文章】

スーパーの店内放送のくふう

1. 調べたきっかけや理由

学校のそばにできた新しいスーパーの話をよく耳にします。ぼくもよく出かけますが、どんなふうがあるのか気になっていました。そこで、スーパーのくふうについて、調べることにしました。

2. 調べ方

インターネットでスーパーのホームページについて調べてから、じっさいに見学に行きました。見学では、店長の田中さんにお話をうかがうことができました。

3. 調べて分かったこと

新しいスーパーのインターネットには、ウェブちらしをつかっておすすめの品がしょうかいされています。

スーパーの店長である田中さんは、「店内の放送をつかって、ちらしの品を店員の声でしゃべっています。」とおっしゃっていました。

[illegible]

4. まとめ

これまで時間によってほうそうを変えていたなんて気づきませんでした。スーパーに行くときは、時間でちがうお店の人のくふうをさがしながら買い物をしてもらえたらうれしいです。

(2) 【太田さんの見学メモ】の書き表し方を説明したものとして、もとも当てはまるものを、次の1から4までのの中から一つえらんで、その番号を書きましよう。

レベル7

- 1 聞いたじゆんに言葉を線でつないでいる。
- 2 中央から、かんけいする言葉と言葉を線でつないで広げている。
- 3 にていることからをまとめて丸でかこんでいる。
- 4 よい点と問題点を四角でかこんでいる。

(3) 太田さんは、次の【太田さんの文章】の四角に、【太田さんのメモ】をもとにして考えた「新しいスーパー」のくふうを書こうとしています。あなたが太田さんなら、四角に入る内容をどのように書きますか。次のじょうけんに合わせて書きましよう。
 〈じょうけん〉

レベル6

○ 「新しいスーパ―」のくふうについて書くこと。
○ 「太田さんのメモ」に整理されたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで問いに答えましょう。

緑の蛙かえると黄色の蛙が、はたけのまんなかでばったりゆきあいました。

「やあ、きみは黄色だね。きたない色だ。」

と緑の蛙がいました。

「きみは緑だね。きみは自分を美しいと思っているのかね。」

と黄色の蛙がいました。

「アこんなふうに話しあっていると、よいことは起こりません。二ひきの蛙はとうとうけんかをはじめました。

緑の蛙は黄色の蛙の上にとびかかっていきました。イこの蛙はとびかかるのが得意でありました。

黄色の蛙はあとあしで砂すなをけとばしたので、相手はたびたび目玉から砂をはらわねばなりませんでした。

するとそのとき、寒い風がふいてきました。

二ひきの蛙は、もうすぐ冬のやってくることをおもいだしました。蛙たちは土の中にもぐって寒い冬をこさねばならないのです。

ウ「春になったら、このけんかの勝負をつける。」

といって、緑の蛙は土にもぐりました。

「いまいったことをわすれるな。」

といって、黄色の蛙ももぐりこみました。

（1）「アこんなふう^イに話しあつていると、よいことは起こりません。」とありますが、話し合った^ウきっかけが起きたのでしよう。文中から三文字で書きぬきましょう。

レベル6

（2）^イこの蛙^{かえる}とは、だれのことでしょう。文中から書きぬきましょう。

レベル6

（3）^ウ「春^{はる}になったら、このけんかの勝負^{しょうぶ}をつける。」といって、緑の蛙が土にもぐったのはなぜですか。次の1～4の中からえらびましょう。

レベル6

- 1 黄色の蛙とけんかをして、けがをしたから。
- 2 黄色の蛙とは、もうけんかをしたくないから。
- 3 土の中にもぐって、寒い冬をこさなければならぬから。
- 4 寒い冬をこすために、先に黄色の蛙が土の中にもぐったから。

